

2015年1月25日

万代地域コミュニティ協議会

発行者：丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

おーい どんげだね!!

= 向こう三軒両隣、手をたずさえて... =

高齢化社会を迎えて

民生委員児童委員協議会

万代長嶺地区会長：本多 功



これからの高齢化社会
ご存知の通り、万代長嶺地区も超高齢化の波が押し寄せておきます。

高齢化社会とは総人口に占める65歳以上の老年人口が増大した社会のことです。また、その割合を示したものが高齢化率(65歳以上)で、現在、中央区24.6%、万代長嶺地区は26.5%、超高齢化率(75歳以上)中央区12.5%、万代長嶺地区は13.5%といずれもわずかですが中央区を超えています。加えて、高齢者のみ、一人暮らし高齢者も増加傾向にあります。向こう三軒両隣、手を携えて生活することが、ますます、肝要かと思えます。

近年までは国、行政が主体的に施策を講じておりましたがここへ来てハード、ソフトとも厳しい情勢が予想され、将来に向けて、地域を主体とした地域包括ケアシステムが提案され、動き始めております。
地域包括ケアシステムとは厚生労働省王唱で

日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行し、更に高齢化率の増大が予想されます。このため、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立社会の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進するとしています。
*地域(概ね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域(具体的には中学校区)を想定)

*参照は厚生労働省、新潟市ホームページをご覧ください。
これを受けて新潟市は今年度から①モデル地域を募集・選定、②地域の課題等を検討、③事業内容を決定・実施、④モデル事業を検証し、得られたノウハウ等を全市に拡充する。

新潟市27団体、中央区内では山潟、長嶺「ミ協」、伴走舎(沼垂)、天明町自治会の4団体がモデル地区に指定されました。具体的には地域「ミ協等」・行政・地域内施設(医療・介護福祉・生活支援)・社会福祉協議会・地域包括支援センター・地域保健福祉センター等が協働して構築する。としています。

安心・安全な高齢化社会を築くため、民生委員児童委員も一員として対応したいと考えます。



民生委員活動強化週間
万代交番 H26年5月15日

2、3月の日程

- 2月8日 万代長嶺小学校スホ振スケット教室
- 2月9日 友愛訪問事業研修会
- 2月10日 中央区民生委員会長連絡会
- 2月18日 地区民協定例会
友愛訪問ヤクルト宅配
- 【ミ協事務局通信】
- 10月15日 柏崎原発視察研修
- 10月19日 総合防災訓練
- 10月25日 宮中ウエルカム参観日、宮中合鳴コンクール交換会
- 11月26日 中央区「ミ協意見交換会」
- 12月26日 市長就任挨拶
- 12月3日 防災、交流施設視察

新潟市消防出初式
1月11日萬代橋下流において出初式が行われました。

- 12月4日 研修 小学校・校内研究授業参観
- 12月19日 年末特別警戒ハトロー
- 12月21日 中学生と地域で考える新道の良いところフォーラム

柳都大橋側は風下のため水しぶきをかぶりながら撮影。



万代橋と柳都大橋、そして左岸、右岸は見物の人だかりでいっぱい。風の寒い日でした。

みやの万代ぶらり

地域包括ケアシステム

最近、行政、ミ協、社会福祉協議会の研修等に出席すると、格差社会、介護、高齢化、人口減等の福祉の問題がテーマになることが多い。そんななかで「地域包括システム」の構築が目をつけた。誰もが住みやすく地域で楽しく暮らせるまちづくりをみんなで考えよう。地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常サービスクラ(具体的には中学校区)を単位として想定されている。このシステムの姿をみると、病気になるなら医療(通院、入院)介護(在宅訪問、その他介護老人福祉施設)、地域包括支援センター、ケアマネジャーが相談やサービスのコーディネートを行う。住まい(自宅、サービ付高齢者向け住宅等生活支援(自治会、ボランティア、NPO等)。

まずは持続可能な経済社会を目指しみんなで助け合って生きたい。行政も持続可能な補助制度を見直し、補助制度を整理統合することだ。いすれにしてもすべての人が今後体験することになる。覚悟はよろしいか。

副会長：宮川 善徳

編集後記：大寒をむかえて、ようやく発行しました。

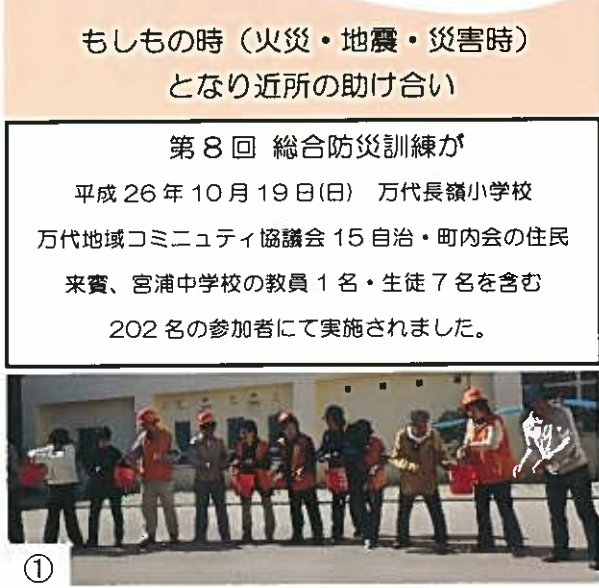
広報委員長： 田所 暁雄

万代コミ協だよりは新潟市地域活動補助金によって作られています。

もしもの時(火災・地震・災害時)となり近所の助け合い

第8回 総合防災訓練が

平成26年10月19日(日) 万代長嶺小学校
万代地域コミュニティ協議会15自治・町内会の住民来賓、宮浦中学校の教員1名・生徒7名を含む202名の参加者にて実施されました。



“救命・応急手当を確認し習得する機会として” さまざまな訓練が実施されました。

- ① 初期消火訓練：消火器の取扱とバケツリレーによる初期消火訓練(みんなで声を掛け合いバケツリレー)
- ② 救出救護訓練：心肺蘇生方法とAEDの取扱実習(最近各所に設置されているAEDの取扱を教えていただき、さあ実践)
- ③ 搬送訓練：応急担架の作り方と負傷者の搬出方法(物干し竿と毛布で応急担架を作り、自力で避難できない方を安全な場所へ)
- ④ 給食訓練：宮浦中学校の生徒さんたちも参加いただき、炊き出し実習(参加者全員が持ち帰り、試食していただきました)
- ⑤ 新聞紙で作る簡易スリッパ：床の冷たい避難所や地震後の散乱したガラス破片から素足を守る(みんな楽しんで作っていました)

2014年11月22日(土)発生の長野県北部地震白馬村では住民同士の助け合いによって、亡くなった人はゼロでした。住民連帯の重要性が再認識されました。

平成27年度総合防災訓練
10月18日(日曜日)
場所：万代長嶺小学校

平成26年12月3日(水)「防災・交流施設の視察研修」

長岡市山古志 **やまこし復興交流館**
・語り部による講演
・地震被害の記録展示

見附市今町 **道の駅 パティオにいがた**
・「防災アーカイブ」水害の記録展示
・水害の記録展示
・水圧体験等

三條市上須賀 **三條市水防学習館**



やまこし復興交流館 おらたる

三條市水防学習館
水害の記録展示